

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成25年8月13日
【四半期会計期間】	第53期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)
【会社名】	株式会社エンチョー
【英訳名】	ENCHO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 遠藤 健夫
【本店の所在の場所】	静岡県富士市中央町2丁目12番12号
【電話番号】	(0545)57-0850
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室長 長谷川 英一
【最寄りの連絡場所】	静岡県富士市中央町2丁目12番12号
【電話番号】	(0545)57-0850
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室長 長谷川 英一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第52期 第1四半期 連結累計期間	第53期 第1四半期 連結累計期間	第52期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	11,897,627	11,777,908	45,523,737
経常利益(千円)	341,165	126,721	692,780
四半期(当期)純利益(千円)	206,537	77,763	413,662
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	168,498	107,232	527,904
純資産額(千円)	8,955,104	9,284,876	9,246,053
総資産額(千円)	40,141,527	41,351,170	39,887,327
1株当たり四半期(当期)純利益金 額(円)	15.10	5.68	30.23
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	22.3	22.5	23.2

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクス効果を背景に、製造業を中心とした企業収益に改善の動きが見られ、緩やかな回復基調で推移しております。

ホームセンター業界におきましては、市場規模が伸び悩む中、規模の拡大を進める上位企業の寡占化とオーバーストア化が進展しております。

このような状況の中で当社グループは、「お客様の期待に応える店づくり」「利益を重視した効率的な店舗運営」を目標に、お客様の満足度向上に向けた諸施策への取り組みと、収益体質の強化に努めてまいりました。また、従来のホームセンターの新たな形と位置づけた、より専門性の高い店舗の開発に注力いたしました。

出店の状況につきましては、平成25年4月、静岡県島田市に「ジャンボエンチョー島田店」を開店いたしました。同店は「より快適な住生活を提案するDIYホームセンター」として、地域社会の皆様の生活に貢献し、地域に密着した店舗を目指しております。また、同店敷地内にホームファッション専門店とアウトドア専門店を融合した当社グループ直営の「casa&SWEN島田店」を含む4店舗のテナントを併設しております。なお、アウトドア専門店の「SWEN」は同月、愛知県名古屋市中区に「SWENナディアパーク栄店」を開店し、ブランドイメージの向上を図るため、名古屋地区へのドミナント出店を推進しております。

上記3店舗を出店したものの、競合店の影響や園芸用品を中心とした春物商材が振るわなかったこと等により、売上高は11,777百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。売上高の減少に加え、新店3店舗のオープンコストを計上した結果、営業利益は186百万円（同54.7%減）、経常利益は126百万円（同62.9%減）、四半期純利益は77百万円（同62.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

ホームセンター事業は、1店舗新規出店したものの、上述の理由により、売上高は10,657百万円（同1.7%減）、セグメント利益（営業利益）は145百万円（同56.0%減）となりました。

専門店事業は、2店舗新規出店したことに加え、前連結会計年度において昨年7月以降に出店した2店舗の売上高が寄与し、売上高は885百万円（同11.3%増）となったものの、セグメント利益（営業利益）は、新店のオープンコスト計上により2百万円（同82.3%減）となりました。

( 2 ) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,463百万円増加し41,351百万円となりました。

流動資産は、14,669百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,277百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加977百万円、商品の増加309百万円によるものであります。固定資産は、26,681百万円となり、前連結会計年度末に比べ186百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物の増加687百万円、建設仮勘定の減少707百万円、有形固定資産のその他に含まれておりますリース資産の増加203百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,425百万円増加し32,066百万円となりました。

流動負債は、17,541百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,699百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加1,177百万円、短期借入金の増加731百万円、流動負債のその他に含まれております未払消費税等の減少187百万円によるものであります。固定負債は、14,524百万円となり、前連結会計年度末に比べ274百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少306百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ38百万円増加し9,284百万円となりました。これは四半期純利益77百万円、剰余金の配当68百万円、その他有価証券評価差額金の増加29百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、22.5%（前連結会計年度末は23.2%）となりました。

( 3 ) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

( 4 ) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,714,995	13,714,995	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	13,714,995	13,714,995	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	13,714,995	-	2,902,954	-	3,435,559

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 33,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,624,000	13,624	-
単元未満株式	普通株式 57,995	-	-
発行済株式総数	13,714,995	-	-
総株主の議決権	-	13,624	-

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社エンチャー	静岡県富士市中央町2丁目12番12号	33,000	-	33,000	0.24
計	-	33,000	-	33,000	0.24

(注) 当第1四半期会計期間末における自己株式数は33,008株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,466,827	3,443,975
受取手形及び売掛金	986,733	1,038,844
有価証券	100,210	-
商品	9,271,864	9,581,585
仕掛品	18,017	23,182
貯蔵品	13,121	14,378
繰延税金資産	139,597	106,158
その他	403,095	469,011
貸倒引当金	7,535	7,532
流動資産合計	13,391,932	14,669,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,401,338	8,088,695
土地	11,767,769	11,767,769
建設仮勘定	807,669	99,922
その他(純額)	832,081	1,055,586
有形固定資産合計	20,808,859	21,011,973
無形固定資産	91,281	91,091
投資その他の資産		
投資有価証券	820,155	854,643
長期貸付金	1,435,042	1,410,121
敷金及び保証金	2,357,414	2,340,588
繰延税金資産	329,487	316,632
その他	708,284	710,669
貸倒引当金	55,128	54,153
投資その他の資産合計	5,595,255	5,578,501
固定資産合計	26,495,395	26,681,566
資産合計	39,887,327	41,351,170
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,661,509	7,839,420
短期借入金	5,663,890	6,395,090
未払法人税等	71,341	17,354
その他	3,445,038	3,289,635
流動負債合計	15,841,780	17,541,501
固定負債		
社債	812,400	787,400
長期借入金	10,799,347	10,492,891
退職給付引当金	824,493	818,344
資産除去債務	280,904	341,522
その他	2,082,349	2,084,635
固定負債合計	14,799,494	14,524,793
負債合計	30,641,274	32,066,294



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,902,954	2,902,954
資本剰余金	3,435,559	3,435,559
利益剰余金	2,775,383	2,784,737
自己株式	14,631	14,631
株主資本合計	9,099,265	9,108,619
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146,787	176,256
その他の包括利益累計額合計	146,787	176,256
純資産合計	9,246,053	9,284,876
負債純資産合計	39,887,327	41,351,170

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	11,897,627	11,777,908
売上原価	8,477,161	8,430,661
売上総利益	3,420,466	3,347,246
営業収入	285,286	291,643
営業総利益	3,705,753	3,638,889
販売費及び一般管理費	3,294,063	3,452,279
営業利益	411,689	186,610
営業外収益		
受取利息	8,833	8,281
受取配当金	7,541	8,178
その他	16,666	18,978
営業外収益合計	33,041	35,439
営業外費用		
支払利息	79,060	70,009
その他	24,505	25,318
営業外費用合計	103,565	95,328
経常利益	341,165	126,721
税金等調整前四半期純利益	341,165	126,721
法人税、住民税及び事業税	69,785	7,293
法人税等調整額	64,843	41,664
法人税等合計	134,628	48,957
少数株主損益調整前四半期純利益	206,537	77,763
四半期純利益	206,537	77,763

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	206,537	77,763
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	38,039	29,469
その他の包括利益合計	38,039	29,469
四半期包括利益	168,498	107,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	168,498	107,232
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

保証債務

下記の連結会社以外の会社の金融機関よりの借入に対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
(有)THエンタープライズ	270,000千円	(有)THエンタープライズ 270,000千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	201,502千円	219,799千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月28日 取締役会	普通株式	68,410	5.00	平成24年3月31日	平成24年6月11日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月27日 取締役会	普通株式	68,409	5.00	平成25年3月31日	平成25年6月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ホームセン ター事業	専門店 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,845,338	796,249	11,641,588	256,039	11,897,627	-	11,897,627
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	260,118	260,118	260,118	-
計	10,845,338	796,249	11,641,588	516,157	12,157,745	260,118	11,897,627
セグメント利益	330,376	13,170	343,546	27,910	371,457	40,232	411,689

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、木材卸売事業及び情報処理・プログラム開発事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額40,232千円は全社費用の配賦額の予算実績差異40,276千円及びセグメント間取引消去43千円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ホームセン ター事業	専門店 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,657,638	885,915	11,543,554	234,353	11,777,908	-	11,777,908
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	285,170	285,170	285,170	-
計	10,657,638	885,915	11,543,554	519,523	12,063,078	285,170	11,777,908
セグメント利益	145,370	2,327	147,697	31,748	179,446	7,164	186,610

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、木材卸売事業及び情報処理・プログラム開発事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額7,164千円は全社費用の配賦額の予算実績差異6,709千円及びセグメント間取引消去454千円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	15円10銭	5円68銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	206,537	77,763
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	206,537	77,763
普通株式の期中平均株式数(千株)	13,682	13,681

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年5月27日開催の取締役会において、平成25年3月31日現在の株主名簿に記載された株主に対し、剰余金の配当(期末)を行うことを次のとおり決議いたしました。

- (1) 配当金の総額 68,409千円
- (2) 1株当たり配当額 5円00銭
- (3) 効力発生日 平成25年6月10日

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月13日

株式会社エンチョー  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岡本 和巳 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 谷口 公一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エンチョーの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エンチョー及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。